

令和5年度 第3回 日進市子ども施策推進委員会 議事録要旨

日時：令和6年3月26日（火）午後2時から午後3時40分まで

場所：日進市役所本庁舎4階 第3会議室

出席委員：津金美智子、伊藤龍仁、南千景、関根聖美、衣川友紀、牛田由美子、熊谷豊、
齋藤由美、早川里美、井上晴子

欠席委員： 大津正仁、早川真理

事務局：こども未来部 棚瀬部長

子育て支援課 鈴木課長、村瀬主幹、小出課長補佐、宮下係長

こども課 安彦課長補佐、伊藤係長

健康課 小川主幹

傍聴可否：可

傍聴有無：3名

<次第>

1 あいさつ

2 議題

(1) 第二期日進市子ども・子育て支援事業計画の推進について

ア 令和6年度保育園等利用申込状況について

イ 令和6年度放課後児童クラブ等の申込状況について

(2) 第三期日進市子ども・子育て支援事業計画策定アンケートの実施結果について

(3) 放課後子ども総合プラン（公設児童クラブ）の安全計画について

3 その他

<議事録要旨>

2 議題 (1) 第二期日進市子ども・子育て支援事業計画の推進について

【事務局】 資料1 説明

【委員長】 報告事項です。質問はありますか。

【委員長】 ないようですので次お願いします。

【事務局】 資料2 説明

【委員長】 報告事項です。質問はありますか。

【委員】 公設児童クラブの定員を増加させたということは、現場職員の人数も増やして対応しますか。

【事務局】 児童クラブにつきましては、まず基準上児童クラブの支援員1名と補助員1名以上として合計2名以上配置しております。児童数が10名ずつ増えるごとに1人以上配置することとしており、事業運営の委託事業者が加配も含めながら、市と協議し、職員配置を行って対応しております。

【委員】 障害をもつ児童のために放課後児童クラブや放課後子ども教室に訪問することも多いですが、訪問理由については、放課後子ども教室等の現場でうまく適用できないお子さんの相談が多いです。現場職員からは、人手が足りないと強く訴えられることもあり、現場の人の配置が本当に十分にできているのか気になっています。

【事務局】 委託事業者において独自で巡回支援に関する職員を採用し、職員の保護者や児童の発達の特性に関する対応について指導及び助言する取り組みを進めております。その結果、現場職員の意識や活動が変わってきている印象があります。今後も保育の質の向上に努めてまいりたいと考えます。

【委員】 公設民間問わず専門性を高める支援をお願いします。人を増やす以前の問題として、障害の理解が少し不足しているとか、もう少し工夫できることがあるにも関わらず、現場ができないという理由で、児童クラブの利用を断られて悲しい思いをされる方がとても多かったです。人を増やすことやお金をかけること以外でできることがまだあるので、今後取り組んでください。

【委員長】 障害のある児童にどのように対応するかは多様な視野が必要になると考えますので、今後研修のような形も含めて現場の臨機応変な対応力や資質向上が必要になってくると感じました。

【委員】 ただ人数を配置するだけではなく、個々の職員のスキルアップが大事であると感じています。長年の経験値のみで配置されている職員の模倣ではなく、日々の環境や、児童1人1人の状況が違う中で、今いるそのスタッフの人数が多ければその状況に対応できる力も含めて、1人の人間として児童を尊重することが大事であると感じます。利用者によっては、はっきりと支援を受けていると言いつらい雰囲気があり、自分の子どもだけ特別に見てもらいたい思いはあるが、それを言ってしまうマイナスになってしまうのではないかと後ろめたい気持ちを持っている方も中にはいると感じる場面があります。その時は、児童の後ろにいるその家族への配慮が必要であると現場の職員が理解しつつ、専門的に支援を行えることも今後必要であると感じました。

2 議題（2） 第三期日進市子ども・子育て支援事業計画策定アンケートの実施結果について

【事務局】 資料3 説明

【委員長】 報告事項です。質問はありますか。

【委員】 2つ質問があります。小学校就学前の児童調査結果と低学年の調査結果について、調査の内容が同じ項目もありますが、理由を教えてください。次に、3件や0件という非常にサンプルが少ない項目について、参考にならないと思いますが今わかる範囲でどのように推計を行うのでしょうか。

【事務局】 その地域の独自性や状況を勘案しながら設定することもできますが、地域特性を鑑みて前回のアンケート項目を踏襲して作成しています。小学生の調査票は、保育・教育のニーズ量を推計するための設問以外は地域の実情に合わせたものとして設定をしております。次に、サンプル数の少ない推計値に使用できない設問については前回の結果も踏まえながら、次期計画策定の支援を行う業務委託事業者とともに検討を進めてまいります。

【委員】 調査票の有効回収率がそれぞれ約48%と46%ですが、一般的に回収率が低いのか高いのか、関心がどれほどあって、本当はアンケートで伝えなかったが質問の量が多くてやめた人など、何かしらそれぞれ関心はあったと感じる部分はあります。そういった人たちも紛れているので、この回収数で次期計画のニーズ量等を分析することに偏りがあると感じます。例えば自由意見もこの報告書以外で公表されてますか。

【事務局】 自由意見について、個人情報観点も含めて、本報告書に掲載しておりません。また、アンケート対象者数1,000人のうち標本数が380人程度集まれば推計ができると計算をしております。また、前回実施した平成31年3月のアンケート結果につきましては、未就学児1,000件中、有効回収数586件で58.6%です。小学校1年生から3年生につきましては、1,000件中609件で60.9%です。

【委員】 自由意見はとても大切な生の声です。わかる範囲内で知りたいと思います。反映してほしいです。

【事務局】 本結果報告書以外の手法で検討します。

【委員】 7ページに掲載されている「気軽に子育てについて相談できる人はいますか」という質問について、91.2%の人は気軽に相談できるっていう人が多い感じに見えます。良かったと思う反面、この5.9%の「いない/ない」という部分と無回答があり、この人たちが今どんな気持ちなのかと想像すると、その数字の後ろに隠れている本当に少数だと思いますが、本当はここに回答したかったけれども、回答できるような、あの気軽な相談相手がいなかったと本当に苦しんでいる人がいると思うと、そこに日が当たる、そういった声こそ拾えるような政策を実施していけると良いと感じました。

【委員】 類似の調査等、他市町村のデータがありましたら比較したいと考えます。

【事務局】 全国の市町村において実施されていますので、令和6年度中の計画策定のため、本アンケートを実施して量の見込みを行いますので可能であると考えます。

【委員】 他市町村の調査結果と比較することで、類似の人口規模等の自治体で比較できると良いと考えます。

【委員】 23ページの子育て支援事業の利用状況についてですが、利用していないという回答が74.6%であり、これが多いのか少ないのか気になります。感覚としては少ない気がしており、保護者からの相談においては、障害を持ったお子さんやその疑いのあるお子さんは、いろいろと悩んでいるので、こういった場所に行きたいけれど、他の子に迷惑をかけてしまうのではないかと考えて行けない方が多いと感じています。利用していない理由は何か、そこまでは把握できないかもしれませんが、元々この委員会は事業を拡大充実させるための会議でもあると思いますので、アンケート回答に対するその背景が探れるといいと考えております。

2 議題（3） 放課後子ども総合プラン（公設児童クラブ）の安全計画について

【事務局】 資料4 説明

【委員長】 日進市未来をつくる子ども条例施行規則第8条第5号に定める本委員会の所掌事項として放課後子ども総合プランの推進に関することとなります。委員から承認をいただく事項となりますので、よろしく願いいたします。

【委員】 数年前にハザードマップが改定されていると思いますが、市内の放課後児童クラブの立地についてハザードマップにかかっているところがありますか。

【事務局】 ないと考えます。天白川沿いにある一部の民間児童クラブについてもハザードマップの危険区域ではないです。

【委員】 承認を行う部分は安全計画の本体で、別添のスケジュールはひな形という理解でよいですか。

【事務局】 お見込みのとおりです。本委員会にて承認後、各公設児童クラブの現場に合わせて策定し、令和6年3月中に委託事業者と協議を行ったうえで令和6年4月1日から、子育て支援課窓口及び各実施教室にて公開を行います。

【委員長】 承認についていただけますでしょうか。

（出席委員全員の挙手による承認）

【委員長】 承認ありがとうございました。それでは次に、その他についてありますか。

【事務局】 令和6年度について共有させていただきたいと思います。計画の策定がない年度の本委員会開催数は、年3回ですが、令和6年度は計画策定年度なので、最大で年5回の開催を予定しております。スケジュールについては決定次第お知らせします。

【委員長】 他に無ければ、以上で令和5年度第3回子ども施策推進委員会を終了します。

（閉会） 午後3時40分 閉会